

平成29年度 東日本大震災アーカイブシンポジウム 被災県が実施する震災アーカイブの意義

2018年
1月11日 ①
13:00～16:30
(開場 12:30)

参加費 無料
定員 200名

会場

東北大学災害科学国際研究所棟 1階
多目的ホール(仙台市青葉区常盤寺町468-1)
仙台市営地下鉄東西線
青葉山駅下車 南出口 徒歩 5分
※ 青葉山駅は仙台駅から地下鉄東西線で9分



主催

東北大学災害科学国際研究所

国立国会図書館



プログラム

- 震災アーカイブを取り巻く国際動向
～世界防災フォーラム&ほうさいくたいの報告～
東北大学災害科学国際研究所助教
ボレー・セバスチャン
- 被災県が取り組む震災アーカイブ～復興にむけて目指すもの～
「いわて震災津波アーカイブ～希望～」について
岩手県危機管理推進推進担当課長
酒井 淳 氏
- 熊本地震への対応とデジタルアーカイブ
熊本県知事公室危機管理防災課熊本県地蔵院主任幹事
林田 昭広 氏
- 茨城県における東日本大震災の記録資料の収集と公開
茨城県生活環境部防災・危機管理課防災・危機管理課参事
中原 健次 氏
- 福島県における震災関連資料の収集について
福島県文化スポーツ局生涯学習課主任社会教育主事
半谷 成満 氏
- 進化する震災アーカイブ～現状と課題～
在仙テレビ局の震災アーカイブ、その意義と活用法
宮城テレビ放送アナウンサー
浮ヶ谷 美穂 氏
- 国立国会図書館東日本大震災アーカイブ(ひなぎく)の課題と取組
国立国会図書館電子情報部主任司書
伊東 敦子 氏
- 震災アーカイブを発展させるために研究機関がすべきこと
東北大学災害科学国際研究所准教授
柴山 明寛 氏

パネルディスカッション

被災県が実施する震災アーカイブの意義

上記報告者及び太田 朋子氏(宮城県図書館資料奉仕部震災文庫整備チーム)



平成28年度 東日本大震災アーカイブ国際シンポジウム

申込方法

下記「みちのく震録伝」トップページ掲載のシンポジウム案内から
リンクしている「参加申込みフォーム」にてお申し込みください。
定員に達した時点で受付を終了します。

「みちのく震録伝」(<http://shinrokuden.irdes.tohoku.ac.jp>)



問合せ先

東北大学災害科学国際研究所 情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野
電話：022-752-2099
メールアドレス：archiveforum@irdes.tohoku.ac.jp
※シンポジウムの詳細については、「みちのく震録伝」ホームページをご覧ください。